

こうしゅくがた  
**拘縮肩(五十肩)について**

2022年4月から肩関節治療に特化した専門チームが始動しました。肩関節チームは、専門分野が異なる複数の医師や専門スタッフで構成され、患者さんのニーズに合わせた、より専門的な治療提供を目指しています。

こうしゅくがた  
**拘縮肩(五十肩)とは？  
どんな人がなりやすい？**

肩の痛みの原因として最も知られているのが『五十肩』です。五十肩の正式な医学用語は拘縮肩(凍結肩)と言います。何らかの原因により肩関節にある「関節包」が炎症を起こし肥厚するのが、主な病態とされています。外傷などのきっかけがなく、「肩の疼痛」と「動かしにくさ」が出現します。五十肩と言われていますが実際には60歳代の女性に多く、普段から運動習慣がない方、デスクワークをされている方などによく現れます。

こうしゅくがた  
**拘縮肩(五十肩)の特徴は？**

症状には個人差があることが特徴です。痛みは軽いものもあれば、夜間痛のために眠れないこともなるなど、幅があります。「五十肩がすぐに治った」という人もいれば「2年くらいかけて徐々に治ったけどすっかりしない」と聞くこともあるのは、このためです。

肩の動かしにくさには特徴があります。他人に手伝ってもらっても肩が動かない、また手を後ろに回しにくいといった症状があれば、五十肩の可能性があります。

こうしゅくがた  
**拘縮肩(五十肩)の診断と治療**

診断方法は、肩の動きの制限といった身体所見に加え、画像検査で行います。レントゲン検査では異常所見はなく、MRI検査で他の肩関節の疼痛の原因となる疾患を否定して、関節包の肥厚などがあれば、確定診断となります。

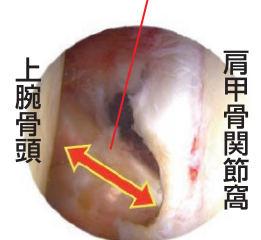
治療方法は、リハビリ・関節内注射などの保存療法が主体で

あり、9割以上の患者さんは保存療法で治癒していきます。しかし残りの患者さんは保存療法に抵抗し、積極的治療を要します。積極的な治療方法は神経ブロックを用いた「非観血的関節授動術」、全身麻酔下で関節鏡を用いて行う「鏡視下授動術」があります。各治療方法には長所と短所があります。しっかりと説明を差し上げた後、患者さんの希望に応じて選択していきます。

肥厚した関節包



関節包を解離したところ



五十肩と自己判断し長期間放置している方がいますが、治療方法は確立されているため、お困りの際には専門の医療機関を受診してみてください。

**梶田幸宏医師の外来診察日 毎週月・水曜日**

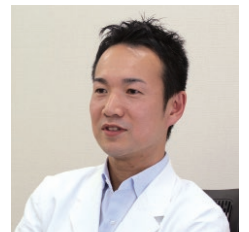
※休診になる場合があります。ご来院前に、ホームページなどでご確認ください。

一宮西病院 整形外科 部長

かじ た ゆき ひろ

**梶田 幸宏**

日本整形外科学会 整形外科専門医



**一宮西病院** 〒494-0001 愛知県一宮市開明字平1番地  
TEL.0586-48-0077(代)

- 内科 ■消化器内科 ■血液内科 ■循環器内科 ■呼吸器内科 ■脳神経内科 ■内分泌・糖尿病内科 ■リウマチ科 ■外科 ■消化器外科
- 乳腺・内分泌外科 ■心臓血管外科 ■呼吸器外科 ■脳神経外科 ■整形外科 ■形成外科 ■眼科 ■耳鼻咽喉科 ■頭頸部外科 ■肛門外科
- 小児科 ■産婦人科 ■皮膚科 ■泌尿器科 ■リハビリテーション科 ■放射線診断科 ■放射線治療科 ■臨床検査科 ■病理診断科 ■救急科

24時間365日、いつでもどんな怪我や病気も断らない

基本方針

あなたの笑顔が患者さまの笑顔に  
**ボランティア募集!**  
TEL.0586-48-0077(代表電話)

〈活動内容〉総合案内まわりで患者さんのご案内やお手伝い、お話し相手など  
〈対象者〉20歳以上で心身ともに健康な方  
〈活動日〉月曜～土曜 午前8:30～12:00 ※ご希望の曜日・時間をお知らせください  
◎お問い合わせ／一宮西病院患者さま相談室【担当】二井・ニーシャム 受付/平日13:00～17:00



**無料平面駐車場完備**